

次世代育成支援コミュニティ行動計画

大穂地区子育て応援 「くすのきプラン」



平成 19 年 3 月 つくば市

目 次

大穂地区子育て応援「くすのきプラン」	1
1. 大穂地区子育て応援「くすのきプラン」とは	1
2. 大穂地区子育て応援「くすのき」プランの基本理念と目標	2
3. 行動計画	3
1. みんなで考えよう大穂地区の「子育て応援」	3
2. 地域の情報をつないで，もっと大きな力にしよう	4
3. 子育て応援の活動に参加してみよう	4
4. ふれあい・交流，魅力ある地域をつくろう	6
4. 今後に向けて	7
大穂地区子育て応援「くすのきプラン」ができるまで	8
1. 次世代育成支援地域コミュニティ行動計画の趣旨	8
2. 活動スケジュール	9
3. 懇談会委員名簿	11
参考資料	13

大穂地区子育て応援「くすのきプラン」

1. 大穂地区子育て応援「くすのきプラン」とは

つくば市では現在、平成17年3月に策定したつくば市次世代育成支援対策行動計画に基づき、子育てを支援するコミュニティづくりを進めています。この取り組みは、地域における様々な社会資源の効果的な活用をはかり、次代の社会を担う子どもたちの健やかな成長を目的としています。核家族化や地域の人とのつながりが昔に比べて弱まる中、こうした取り組みは、地域における子育て支援を通して、まちづくりの観点からも推進する必要があるといえるのではないのでしょうか。

市の北西部に位置する大穂地区においては、これまで様々な団体が子育て支援の活動を行ってきましたが、ここ最近全国で発生した子どもたちが犠牲になる痛ましい事件への対応や人口が急増した地域内でのこれまでとは違った子育てニーズへの対応など、こうしたことに対応するさらなる幅広い活動が現在求められているところです。

そのような中今年、大曽根地区に市内において初めての試みの多世代交流型の児童館が建設されることを契機として、大穂地区内の様々な活動団体のネットワークを築き、お互いの団体が情報交換を行いながら、横の連携をより深め、そして団体の枠を超えて、幅広く世代を超えた交流を行うことによって、より魅力的な大穂地区の子育てを通じたまちづくりを地域に住んでいる住民が協力してめざしていくために、今回大穂地区子育て応援「くすのきプラン」を策定するものです。

計画の期間と推進体制

19年度からの3年間を計画期間とし、その後進捗状況に応じて、内容の見直しを行います。

大穂地区内の保育所・幼稚園と保護者、小中学校PTA、児童館・公民館、区会・自治会・防犯活動団体、様々な子育て応援活動団体・青少年関係団体、子育てサポーター、シルバー会などからなる大穂地区子育て応援連絡会(くすのき会)を組織します。

定期的に連絡会を開催し、互いの活動の情報交換・共有を図りながら連携を深め、ネットワーク体制をとりながら、子どもたちの健やかな育成と魅力ある地域づくりをめざします。

2. 大穂地区子育て応援「くすのき」プランの基本理念と目標

「くすのき」プランがめざす基本理念

子どもたちが心身ともに健やかに、輝いて育つことができるまちづくり

子育てする親たちが地域の中でつながっていけるまちづくり

基本理念を達成するための3つの目標

人と人がつながり、協力しあえる環境を整備する。

身近に気軽に、だれでも参加できる運動を推進する。

世代を超えて、交流できる場と機会をつくる。



「くすの木」は
旧大穂町の木です。

大曾根小学校のくすの木（樹齢約120年）

3. 行動計画

1. みんなで考えよう大穂地区の「子育て応援」

子育て応援ってどんなこと？ 何を誰にすればいいんだろう？

まずはみんなで大穂地区の子育て環境の様子や課題について、ともに考える場を持ちたいと思います。活動している団体の内容を互いに知りながら、進めていきます。

事業名	内容	推進活動団体	めざそう値
子育て連絡会の設置 名称「大穂地区子育て応援 連絡会（くすのき会）」	活動団体間の横の 連携・連絡を図るた めに設置。情報の共 有，事業の連携をめ ざす。	大穂地区内の保 育所・幼稚園と 保護者，小中学 校PTA，児童 館・公民館，区 会・自治会・防 犯活動団体， 様々な子育て応 援活動団体・青 少年関係団体， 子育てサポータ ー，シルバー会 などでネットワ ークを築く 行政と協働	19年度内に， ネットワーク を立ち上げる。 以後，定期的に 開催する。
子育て関連の講演会の 開催	様々な角度からの 講演会を開催する。 現在，講演会を開催 している団体など が，情報交換をしな がら進めて行き，将 来は「統一したテー マ」で開催するなど して，地域の理解向 上をめざす。	各小学校・中学 校，青少年を育 てる市民の会な ど，現在「講演 会」を事業とし て行っている団 体	ネットワーク を立ち上げる 中で，順次情報 交換をしてい く。 20年度は，企 画段階から情 報交換をして いくなど，連携 を深めていく。

2. 地域の情報をつないで、もっと大きな力にしよう

大穂地区内では、現在様々なボランティア活動が展開されています。その活動の様子を紹介したり、ボランティア募集を行ったり、活動に関する様々な情報を地区内の多くの人に発信することによって、地区内の子育て応援力のアップをめざします。

事業名	内容	推進活動団体	めざそう値
大穂地区子育て情報センターの創設	地域内での様々なボランティア活動の情報を発信するために施設内に「情報掲示板」を設置する。 ボランティアの募集なども行う。	公民館 児童館 など 地域内の拠点となる施設内に設置する	19年度内に、「情報掲示板」の設置。 以後、内容の充実を図っていく。
「子育て応援くすのき会」ホームページの作成	より広い情報発信や各地域での各団体の活動の様子などを紹介するためにホームページを作成する。	くすのき会が、行政と連携して進める	19年度内に立ち上げる。 以後、内容の充実を図っていく。

3. 子育て応援の活動に参加してみよう

まずは、身近なことから。

子育て応援には、様々な場面があります。無理なく、気軽に参加できる運動をみんなで継続していくことで、「応援の輪」が地域に広がります。「ご近所の底力大穂版」運動です。また、活動を企画・運営を行っていくリーダーを育てることも不可欠です。

事業名	内容	推進活動団体	めざそう値
防犯ステッカー・パトロール中のぼりの掲示	統一した「防犯ステッカー」を車に貼っていただける協力者や「防犯活動パトロール中」ののぼりを地域内に立てる。	大穂中学校区防犯対策連絡協議会(地区内の各小中学校で組織している)・大穂地区防犯協会	既に17年度から活動を開始している。

事業名	内容	推進活動団体	めざそう値
「110番」の家協力 家庭・事業所の推進	協力家庭や事業所の 推進活動を行う。	各小学校PTA・ 青少年を育てる つくば市民の会 大穂支部	3年間で対比 2割の増加
登下校見守りパトロール	子どもたちの登下 校の際の見守りボ ランティア活動。	各小学校PTA	3年間で対比 5割のボラン ティアメンバ ーの増加
子育てマイスター制度	乳幼児期の子育て 相談について、地域 に住む身近な人や 多くの経験を持つ 方を「子育てマイス ター」として登録 し、若い保護者から の相談にあたるこ とによって、不安の 解消をはかる。	保育所 大曾根児童館 行政と協働	19年度は、ま ず地域内の人 材の発掘・登録 を行い、以後内 容を充実させ ていく。
ボランティア育成講座 の定期的な開催	地域の中に埋もれ ている人材の発掘 と新たなボランテ ィア活動の担い手 の育成をめざす。	公民館 児童館	3年間で、ボラ ンティア活動 に参加する人 を増加させる

4. ふれあい・交流，魅力ある地域をつくろう

大穂地区の良さは、「世代間交流」ができることです。

シルバー世代や中高生が，若い保護者や子どもたちとふれあう機会をつくることで，つながりがより深まり，みんなが協力しあえる魅力ある地域をつくることをめざします。

事業名	内容	推進活動団体	めざそう値
あいさつ運動	子どもたちの登下校の際に，あいさつを行うことによって親近感を深める。	各活動団体が率先して行い，参加する人を増やしていく	3年間で現状よりも参加者を増やす
花いっぱい運動	大穂地区内の家庭の庭先やベランダなどを「花」で飾っていく運動を行う。	各活動団体が率先して行い，参加する人を増やしていく	3年間で参加家庭を増やす
小中学生のための異学年交流	中学生が出身小学校でボランティア活動を行うなど，子ども同士の異年齢交流を支援する。	小中学校 PTA	情報交換・連携をとりながら進める
地域の伝統・文化行事の開催	伝承遊び・七夕飾り・盆踊り・月見会・凧揚げなどを開催する。	児童館・公民館 シルバー会 地域団体 小中学校 など	情報交換・連携をとりながら進める
中高生・地域の住民が参加できる世代間交流事業の開催	盆踊り大会・カラオケ大会・運動会などを開催する。	児童館 シルバー会 地域団体 小中学校 など	情報交換・連携をとりながら進める

4. 今後に向けて

今回の大穂地区次世代育成支援推進コミュニティ行動計画，いわゆる大穂地区子育て応援「くすのきプラン」の策定は，子どもたちの健全育成とともに魅力ある地域づくりをめざしています。

現在，核家族化や地域社会との結びつきが弱まり，親は家庭で孤立したまま子育てをしているケースが少なくありません。こうした親の負担を少しでも軽くするとともに，子どもたちが社会の中で健全な成長をしていくためには，地域ぐるみで幅広い世代を超えてのふれあい・交流を行っていくことが大切ではないでしょうか。

そのような意味で，「多世代間交流」ができる大穂地区の良さをさらに活かして，魅力ある地域づくりのために，まずは地域内で活動している様々な団体がお互いにその活動の様子を知りながら，子育て応援のネットワークを築くことから始めたいと思います。

地域のみんなでつくる手づくりの大穂地区子育て応援「くすのきプラン」を，大事に育て進めていきたいと思っています。

大穂地区子育て応援「くすのきプラン」ができるまで

1. 次世代育成支援地域コミュニティ行動計画の趣旨

つくば市では、平成 17 年 3 月に策定したつくば市次世代育成支援対策行動計画に基づき、子育てを支援するコミュニティづくりを進めています。つくば市次世代育成支援対策行動計画には、以下のように書かれています。

重点項目 5 子育てを支援するコミュニティづくりを推進します

計画期間中に 14 中学校地区のうち半数においてコミュニティ行動計画が策定されることを目標とし、子どもの遊び場、親子交流の場など各種事業を、地域単位で市民の自主的な活動により推進されるよう支援します。

このように、重点項目 5 では、地域の課題や良いところなどを熟知している地域住民の皆さんが主役となって、自ら地域単位での行動計画を策定し、さまざまな活動団体が横につながることが重視されています。

そこで、平成 18 年度は、各地区がコミュニティ行動計画をどのように策定すれば良いのかひとつのモデルを示すために、大穂地区を選定し、3 回の懇談会 2 回の子育て連絡会を通して、地域の子育て支援リーダー、青少年育成リーダー、当事者である子育て家庭の意見を取り入れながら、行動計画(大穂地区子育て応援くすのきプラン)を策定しました。

ここでは、どのような過程を経て、くすのきプランが完成したのかについて報告します。この報告書を参考にして、つくば市内のそれぞれの地域において、行動計画を策定することをきっかけに、さまざまな活動団体がつながり、協力の輪が広がることを期待します。

2. 行動計画策定スケジュール

10月 懇談会メンバーの選出・依頼 第1回懇談会開催案内の発送（つくば市）

10月31日（火） 第1回 コミュニティ行動計画懇談会開催
参加人数：9名

11月上旬 アンケート調査の実施・集計（地域における市民の自主的な活動を把握）
アンケート配布対象：対象地域の子育て支援を実施しているすべての団体・個人
（地域の資源となりうる人・組織）

アンケート調査内容：

- 1) 現在、対象地域の子育て支援に必要なと思われるもの
- 2) 自主団体・地縁団体等のリストアップ・連絡先・代表者・活動内容等のデータベース作成用データ
- 3) 地域の中で一番必要と思われる支援は何か
- 4) つくば市に期待すること
- 5) 自団体でできることや得意分野・現在困っていること

懇談会委員による協力・児童館、公民館にアンケートを設置。

地域子育て連絡会議のための資料：(p.13～16 参照)

対象地域の子育て支援団体（個人）リスト
今、必要な支援、困っていること等集計結果
現代の子育て（現状の共通理解のために）

12月7日（木） 第1回（仮称）大穂地区子育て連絡会議開催
参加人数：23名

参加者自己紹介

ワークショップ：つくば市でやること・市民ができること 具体化
今、大穂地区で必要な支援とは何か。

つくば市の考える連絡会議の意義

大穂地区で子育て支援をする人、子育てしている人、大穂地区の子育てに関心のある人が一同に会し、どのような団体・個人が地域でどんな活動をしているのか。どのような成果があったのか。また共通する課題は何か。情報共有・情報交換をおこなう場としたい。

ここに集う地域の力を活かし、解決のためのアクションに結びつけることが可能か。小さなことでもいい。地域ができることは何か、この場を活用してほしい。

大穂地区の状況を行政にもフィードバックしていただき、つくば市の子育て支援全体に活かしていけると良い。

1月22日(月) 第2回 コミュニティ行動計画懇談会開催
第1回地域子育て連絡会議報告と第2回連絡会議の講演内容等について
参加人数：7名

2月6日(火) 第2回 (仮称)大穂地区子育て連絡会議+講演会 開催
参加人数：35名

(講演)

中根惇子氏(全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター)

演題 「すこやかな子どもの育みから地域づくりへ ~地域みんなで子育て支援!~」

(グループワーク)仮称「くすのきプラン」について意見交換

当日参加資料:(p.13~16 参照)

3月7日(水) 第3回 コミュニティ行動計画懇談会開催
第2回地域子育て連絡会議の報告
「くすのきプラン」(案)の確定
今後について 8名

3. 懇談会委員

次世代育成コミュニティ行動計画

大穂中学校区懇談会委員

氏 名	団 体 名
鷹巣 利宗	青少年を育てるつくば市民の会 支部長
武井 博	大曽根小学校長
小野 泰宏	大曽根小学校 PTA 会長
森田 薫	主任児童委員
田地 美代子	主任児童委員
黒瀬 正代	大穂地区子連会長
八木 智美	大曽根児童クラブ委員会会長
北島 清吾	大穂地区シルバークラブ連合会長
根津 久美子	みらい子育てネット会長
塚越 信男	つくば市青少年相談員大穂支部長
根本 基之	大穂地区（大曽根上）長
吉原 承治	大穂地区（大曽根下）長

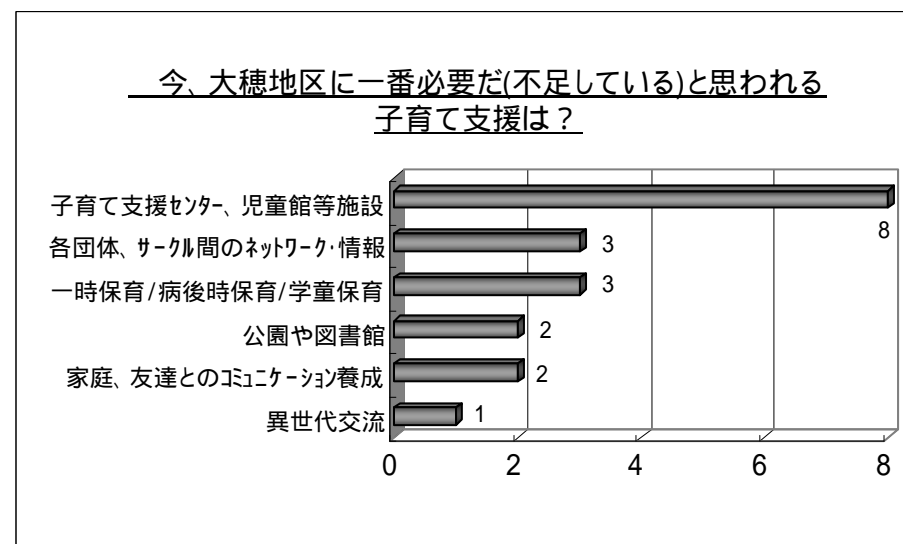
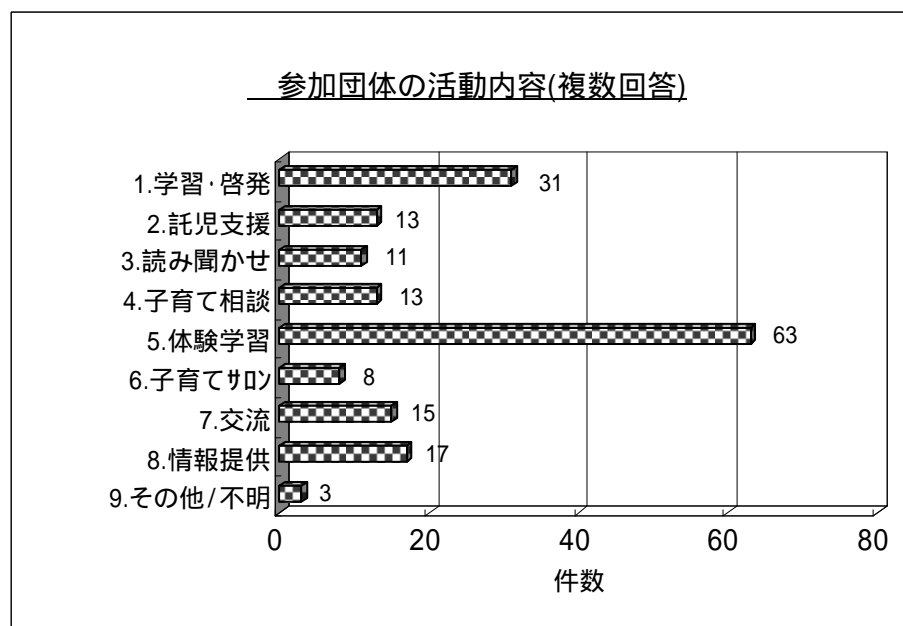
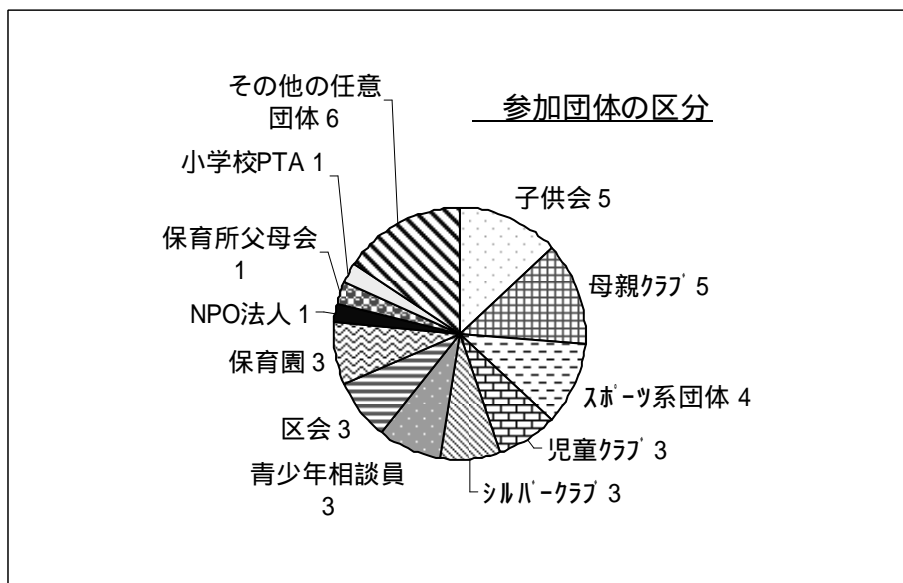
は会長。

大穂地区子育て応援活動団体・個人一覧

大曽根母親クラブ	大穂地区区会連合会
吉沼母親クラブ	大穂地区民生委員児童委員協議会
大穂保育所	大穂地区シルバークラブ連合会
ケアーズ保育園	更生保護女性会大穂支部
フラワーチャイルド保育園	大穂幼稚園 PTA
吉沼保育園	大曽根小学校 PTA
かなめ保育園	要小学校 PTA
いなほ幼稚園	前野小学校 PTA
吉沼幼稚園	吉沼小学校 PTA
大穂幼稚園	大穂中学校 PTA
大穂保育所保護者の会	大穂幼稚園家庭教育学級
ケアーズ保育園保護者の会	大曽根小学校家庭教育学級
吉沼保育園保護者の会	要小学校家庭教育学級
いなほ幼稚園保護者の会	前野小学校家庭教育学級
吉沼幼稚園保護者の会	吉沼小学校家庭教育学級
おはなしのたんぼ	大穂中学校家庭教育学級
ジャザサイズ	前野小学校祖父母学級
つくほクラブ	吉沼小学校祖父母学級
岩崎会	大曽根小学校児童クラブ
NPO 法人キッズクラブ・のーびのーび	要小学校児童クラブ
インファントマッサージ	前野小学校児童クラブ
~ amour-bebe ~	吉沼小学校児童クラブ
	青少年を育てるつくば市民の会大穂支部
	つくば市青少年相談員連絡協議会大穂支部
	つくば市体育協会スポーツ振興会大穂支部
	大穂地区子供会育成連合会
	大穂地区スポーツ少年団

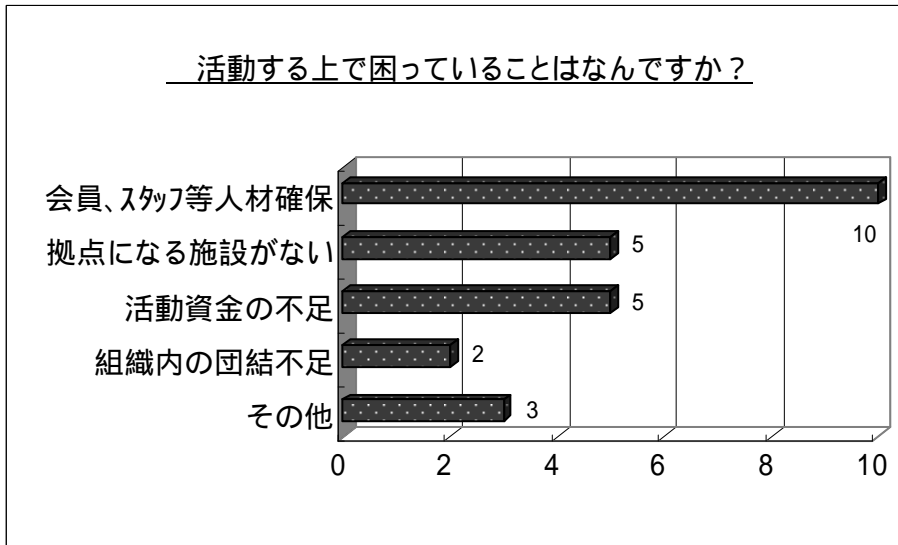
参考資料

(大穂地区子育て支援活動団体へのアンケート集計結果 2006年11月)



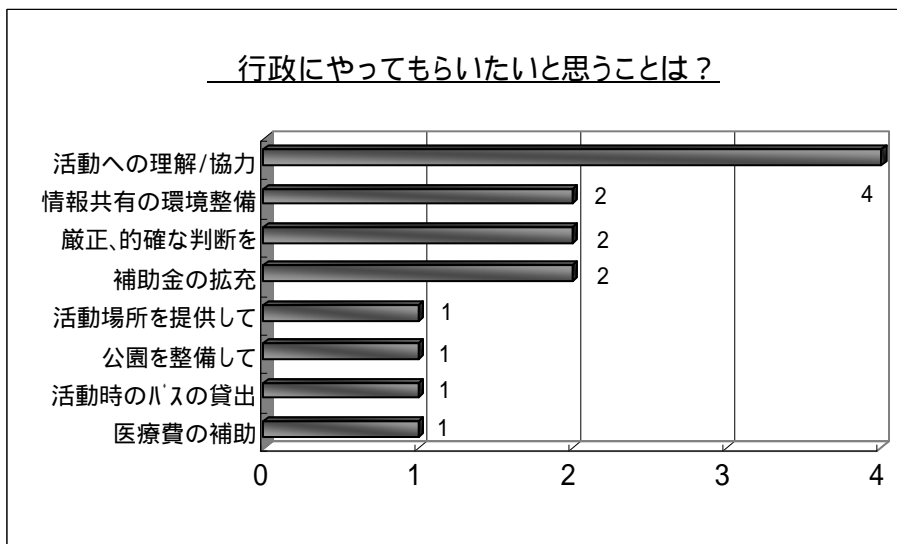
「今、大穂地区に一番必要(不足している)と思われる子育て支援はなんですか。」に対する回答。

* 大穂地区の子育て支援の拠点となる施設がない、という意見が目立つ。それに付随して各団体間の横のつながりも不足しているという意見も挙げられている。また、一時保育や病後時保育、学童保育等も十分ではないという意見もあった。



「活動する上で困っていることはなんですか？」という質問に対する回答。

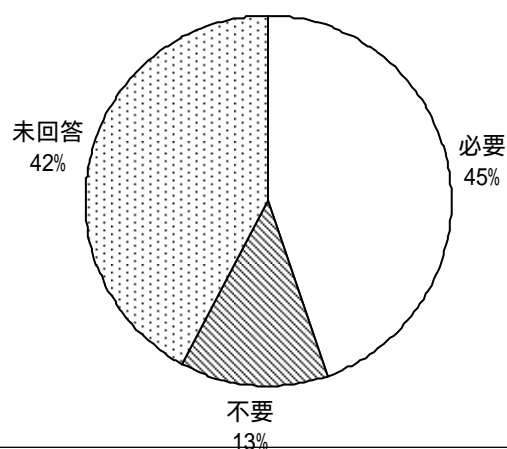
* 最も多かったのが、スタッフ等の人数不足と、中心的に運営に携わる人材の確保。ついで多かったのが、活動拠点となる場がない、活動に十分な施設が確保できないという意見も多く、来年の児童館開館に大きな期待が寄せられている現状がわかる。なお活動資金の調達も課題という意見も同数あがっている。また団体内での情報交換や引き継ぎがうまくいかない、学園地区と周辺地区では様々な格差があり、統一できない等、組織内の問題点を抱える意見もあった。



「行政にやってもらいたいと思うことは？」という質問に対する回答。

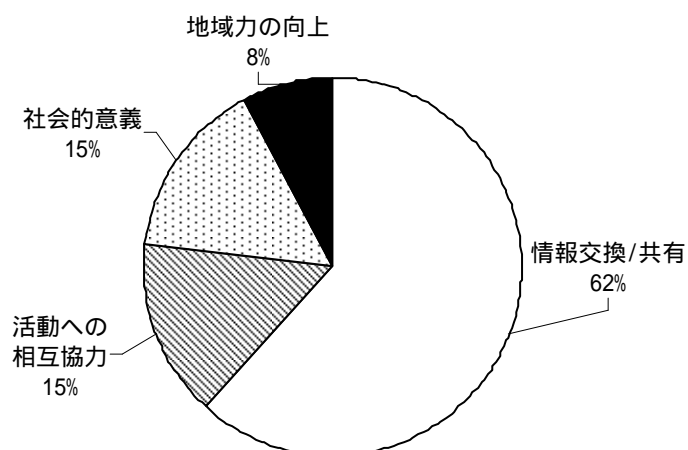
* 施設の使用や、活動への積極的関与などの協力を求める意見が多い。ついで、各団体の情報を共有できる環境・場の整備をもとめる意見、補助金の拡充をもとめる意見もあった。また、子育て関連施設への的確な人員配置や、指定管理者制度の導入にあたって厳正な審査をもとめる声も出ている。

子育て支援に関する地域の横のネットワークは必要だと思いますか？



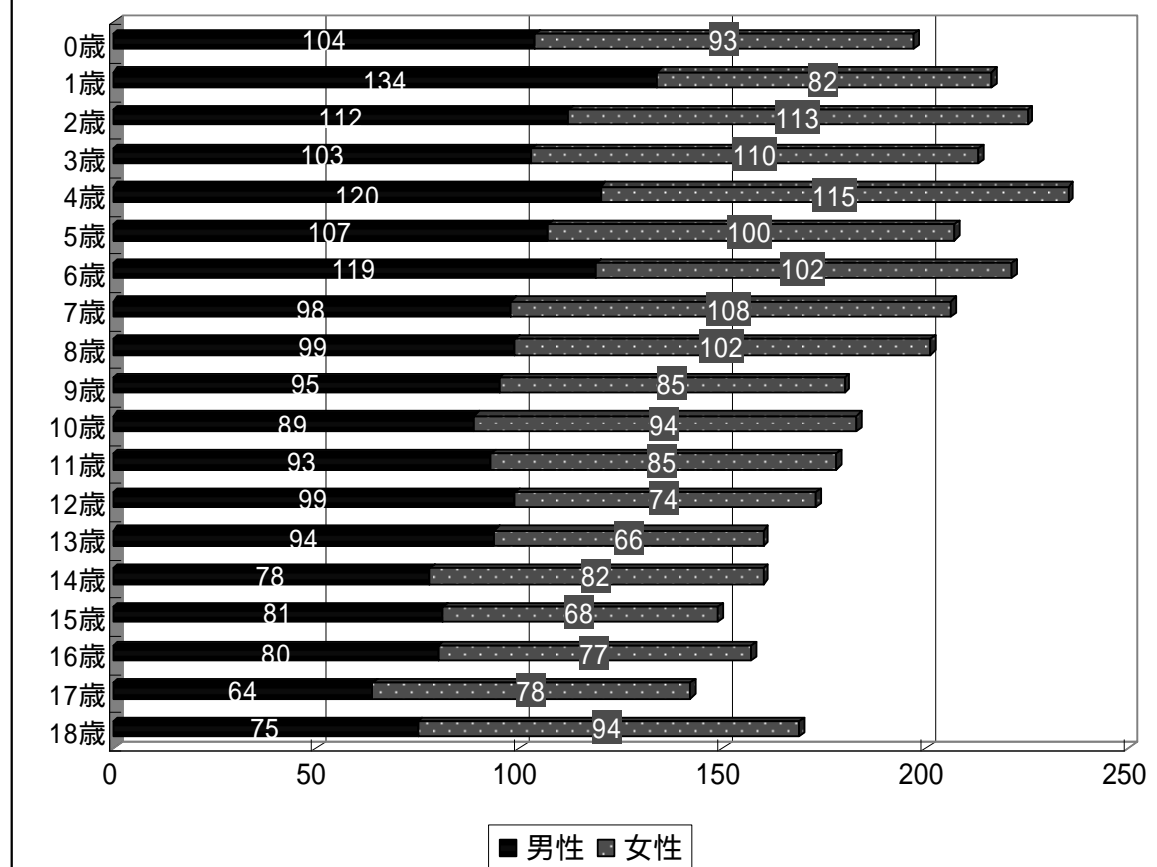
「子育て支援に関する地域の横のネットワークは必要だと思いますか？」に対する回答。
* 未回答も多かったが、記載があった中では、そのおよそ 8 割がネットワークは必要だと答えている。また全体的なネットワークは「不要」と答えた団体も同じような活動をしている団体とはつながりをもちたい、という意見もあった。

ネットワークに何を期待しますか？



ネットワークに何を期待しますか？」という質問に対する回答。
* ネットワークは「必要」と答えた中から、それに期待することをまとめると、団体間での情報交換、情報共有を求める声が多かった。また、活動自体への相互協力の期待感もある。さらに、現在の社会情勢を見ると、子育て支援ネットワークの構築は社会的意義が大きいと考える意見もあった。

大穂地区子どもの人口(平成18年10月1日)



つくば市の人口と世帯

平成19年1月1日現在

住民台帳人口	地区名	男	女	計	世帯数	前月比人口	世帯数
	大穂	9,304	8,975	18,279	6,562	36	13
豊里	7,588	7,557	15,145	4,721	21	13	
谷田部	34,897	32,141	67,038	27,966	114	36	
桜	25,450	23,205	48,655	21,990	74	81	
筑波	10,528	10,765	21,293	6,517	8	17	
荃崎	12,353	12,436	24,789	9,083	36	1	
合計	100,120	95,079	195,199	76,839	69	3	

住民台帳人口	地区名	男	女	計	世帯数	前月比人口	世帯数
	大穂	9,649	9,319	18,968	6,861	44	17
豊里	7,475	7,464	14,939	4,598	22	14	
谷田部	36,962	33,834	70,796	31,048	80	11	
桜	28,438	25,485	53,923	23,388	81	90	
筑波	10,087	10,545	20,632	6,063	14	20	
荃崎	12,095	12,481	24,576	8,710	16	15	
合計	104,706	99,128	203,834	80,668	63	35	